第24回青森県障がい者技能競技大会（あおもりアビリンピック2026）

＜写真撮影競技＞（事前競技課題）

1　競技課題

青森職業能力開発促進センター（以下「ポリテクセンター青森）」という）を会場として開催される第24回青森県障がい者技能競技大会（以下「大会」という）の模様や大会会場風景をパンフレットやホームページ上で紹介することを想定した撮影する。

これにより、写真撮影における基本的な技術や総合的な構成力を競う。

＜撮影内容＞

下記（1）～（4）から計3枚を「組み写真作品」として提出する。

（1）　大会会場の情景（ポリテクセンター青森の内外観）（必須）

（2）　参加選手の競技スナップ（必須）

（3）　大会競技の情景、状況

（4）　その他、観客、スタッフ（ボランティアを含む）等のスナップ、展示品など

＜評価項目＞

撮影した写真素材を使用してパンフレットやホームページを作成する際に、上記（1）～（4）課題に対して標記大会に選手として参加したくなるような、また来場して見学したくなるような、参加選手の競技に対する想いや表情、自分がアビリンピックに対するイメージや意図とすることが表現されているか。

2　競技時間

2時間（うち説明30分、写真撮影60分、作品の作成30分）

3　作品の提出方法

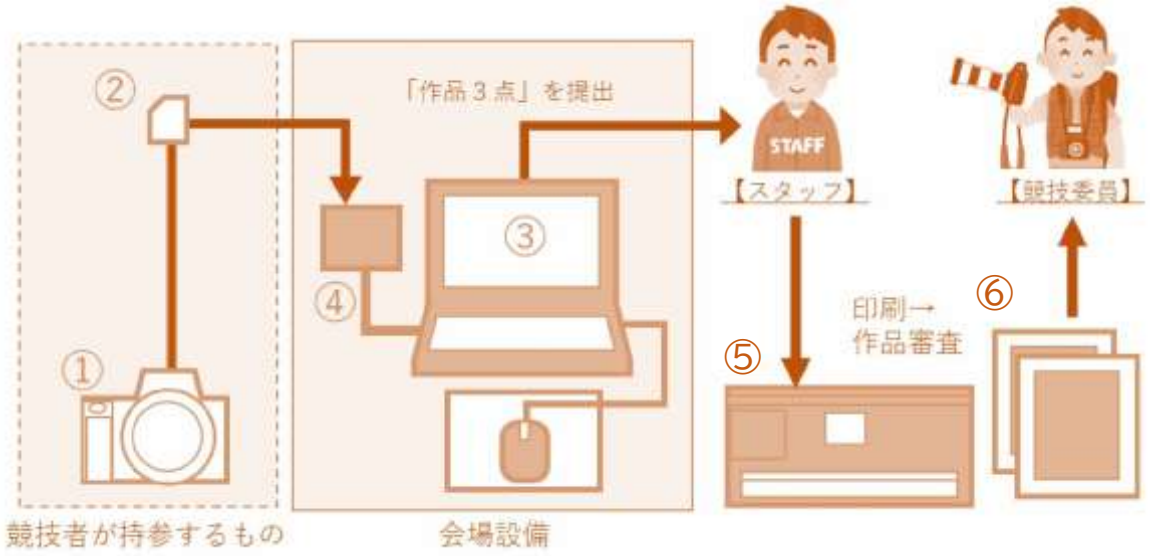
（1）　競技者はデジタルカメラで撮影した画像をパソコンに保存したうえで作品3点を選ぶ。

（2） その際に必要であれば指定の写真加工ソフトウェアを用いて「トリミング」「明るさの調整」「彩度の調整」のみを行うことができる。
作品3点をパソコンの所定のフォルダに保存し、印刷を行う。
ただし、印刷は作品1点につき2回までとし、作品3点を提出する。

（3） 審査は、データ画像とA4サイズのインクジェット用写真用光沢紙にプリントしたもので行う。
A4の比率は約5:7(1:√2)で標準ピクセルは200～400ppi。

● 必要があれば、パソコンや写真加工ソフトウェアの操作、印刷には補助員が手伝う。

4 競技設備の構成と提出手順



●競技者が持参するもの

品名	規格	備考
①デジタルカメラ	画像をデジタル保存できるもの(A4 サイズに印刷するため、800万画素以上の機材が望ましい。)	デジタル一眼レフカメラ、ミラーレスカメラ、コンパクトデジタルカメラ、カメラ機能付きスマートフォン・タブレット
ズームレンズ		使用可
②記録媒体(SDカード、コンパクトフラッシュ等)	持参のカメラに合うもので、30枚以上保存可能なもの	パソコンに取り込めるもの

※スマートフォン、タブレット等で記録媒体の使用ができない場合は、撮影した写真を

指定のメールアドレス(aomori-kosyo@jeed.go.jp)に送信することとする。

●会場に準備されているもの

品名	規格
③パソコン	ノート型パソコン(Windows 11 Pro) 大型液晶ディスプレイ 写真加工ソフトウェア(Microsoft フォト) ※他の編集ソフトウェアでの編集は不可(用意しません)
④カードリーダー	SD、microSD、コンパクトフラッシュ等対応
⑤プリンター	カラーインクジェットプリンター
⑥印刷用紙	インクジェット用写真用紙

5　準備

（1）　撮影モードは何にするかあらかじめ決めておくようにする。
P(プログラムオート)、A(絞り優先オート)、M(マニュアル)のいずれかを使いこなせるようにしておく。フルオートは暗いところでストロボが自動発光するので注意すること。

（2）　室内でストロボ発光禁止、三脚使用不可のためISO感度を適正に設定する。自分のカメラで手ブレが発生しないシャッタ―スピードを覚えておくとよい。(1/30以下になると手ブレがしやすくなる。手ぶれ補正を有効にすることも可。)

（3）　露出の＋(プラス)－(マイナス)補正機能が使えるようにしておくと、露出補正がしやすい。

（4）　カメラによって操作方法が異なるので持参のカメラの使い方を覚えておく。

（5）　撮影会場は「蛍光灯照明」のところと「蛍光灯照明」に加え大きな窓から光が入ってくるところがあるのでホワイトバランスはオートにしておいた方が無難であること。

6　条件その他、注意事項

（1）　競技者は、他の競技・イベント等の進行を妨げないこと。また、他人(特に他競技者や担当者)の迷惑にならないよう特別の配慮を心がける。

（2）　競技撮影時に、撮影対象の競技者と適切な距離を保つため、望遠(ズームレンズ)の持込みを可。

（3）　カメラおよびこれに使用する記録媒体は各競技者持ち込みとし、<u>大会当日に競技委員から認定を受けたものを使用する</u>こと。(ただし、持ち込みができない競技者については、10月23日までに事務局に申し出ていただければ、デジタルカメラを大会当日に限り貸与する。)

（4）　カメラ機能付きスマートフォン・タブレット端末を使用する場合、端末にもともと付いているカメラ機能のみ可能。

（5）　カメラ機能付きスマートフォン・タブレット端末の AI 生成機能等を使用した作品加工を禁止する。

（6） 三脚の仕様は不可。ただし、自撮り棒の使用は可。（通行や競技見学の妨げにならないようする。ただし、合理的配慮等により三脚が必要な場合は、大会当日までに事務局に申し出ること。）

（7） 撮影・設定は選手本人だけで行い、他者（付添者・介助者・選手同士等）の意見を聞くことを禁止する。

（8） 撮影は**指定された場所の中であれば自由に移動が可能。**

（9）撮影した画像は、指定の写真加工ソフトを用いて「トリミング」「明るさの調整」「彩度の調整」に限って加工を行うことができる。

（10）作品（3点）をパソコンの指定のフォルダに保存して挙手等によりスタッフに提出を依頼します。提出された作品は大会本部にて印刷、競技委員により審査を行う。

（11）作品を3点以上提出した場合は減点とする。

（12）提出された作品は返却しない。

（13）提出した作品の著作権は作者に帰属するが、写真（画像）の使用権は主催者に属し、今後の障がい者技能競技大会の啓発活動（報道機関等への提供、ウェブサイトへの掲載等を含む）等の目的のために使用する場合がる。

（14）提出した作品、パソコンに入力された作品の写真（画像）は、主催者により適切に管理・消去します。

（15）著作権上、カメラ等に記録された画像はすべて削除すること。

（16）撮影した画像は、SNSへの投稿やWebへの掲載等による公開を禁止する。